

2	青少年・治安対策本部	子供・若者問題対策の推進
事業概要	<p>1 青少年育成総合対策の推進 昨今の社会の急激な変化に伴い、子供・若者をめぐる情勢は、従来とは様相を異にし、困難かつ迅速に対応しなければならない問題が数多く生じている。 こうした状況に対応するため、子供・若者の問題に関わる主要な部署と連携した青少年育成総合対策の推進を図っている。</p> <p>2 子供・若者問題対策の方向性</p> <p>(1) 「東京都子供・若者計画～社会に参加し、社会を形成する若い力を育む～」を踏まえた取組 「東京都子供・若者計画～社会に参加し、社会を形成する若い力を育む～」(平成27年8月策定)を踏まえ、青少年の社会的自立に向け、区市町村の実情に応じた支援や関係機関との連携を推進</p> <p>(2) 青少年健全育成条例等の運用 ア 有害環境から子供を守る取組 イ インターネット・携帯電話対策の推進</p> <p>(3) 若年者の自立や非行少年の立ち直り支援 ア 相談事業を通じたひきこもりの若者の実態把握、ひきこもりからの立ち直りを支援するNPO法人等の支援団体の育成と区市町村との協働の推進、ひきこもりの問題を抱える家族に対する地域における支援の推進 イ 主に18歳以上の若者を対象とした総合相談窓口の運営 ウ 非行少年の立ち直りを図るための支援</p> <p>(4) 地域と協働した子供の育成 ア 東京子供応援協議会の運営 イ 地域における青少年の健全育成</p>	
これまでの経過	<p>平成16年11月 インターネットによるひきこもり相談(「東京都ひきこもりサポートネット」)の運営開始 「ひきこもりに係る連絡調整会議」設置</p> <p>17年3月・19年3月 東京都青少年の健全な育成に関する条例改正</p> <p>17年6月 「東京子ども応援協議会」設立総会開催 10月 「テレビゲームと子どもに関する協議会」設置</p> <p>18年10月 東京都青少年問題協議会から、「少年院等を出た子どもたちの立ち直りを、地域で支援するための方策について」答申</p> <p>19年1月 「東京都子ども・若者問題対策会議」設置 1月 「子どもに万引をさせない連絡協議会」設置 3月 「若年者自立支援調査研究に関する検討会」設置 4月 「少年院出院者の立ち直りを図るための保護司活動支援協議会」設置 7月 「東京都ひきこもりサポートネット」電話相談開始</p> <p>20年4月 「ネット・ケータイに関する関係局連絡会議」設置 7月 「東京都ひきこもりセーフティネットモデル事業」の開始 8月 非行少年立ち直りワンストップセンター「ぴあすぽ」開設 8月 東京都若者社会参加応援ネット「コンパス」(ひきこもり等の若年者支援プログラム事業)の開始</p>	

- 10月 「東京都ひきこもりサポートネット」携帯メール相談開始
- 11月 東京都青少年問題協議会から、「若者を社会性をもった大人に育てるための方策について」意見具申
- 12月 東京都青少年問題協議会に、メディア社会が広がる中での青少年の健全育成について諮問
- 21年 4月 「早期からの『しつけ』の後押し事業」開始
- 7月 東京こどもネット・ケータイヘルプデスク開設
- 7月 「東京都若者総合相談（・㍻・）/若ナビ」開設、電話相談開始
- 7月 「若者の自立等支援連絡会議」設置
- 11月 「東京都若者総合相談（・㍻・）/若ナビ」メール相談開始
- 22年 1月 東京都青少年問題協議会から、「メディア社会が広がる中での青少年の健全育成について」答申
- 12月 東京都青少年の健全な育成に関する条例改正
- 23年 1月 第1回「携帯電話端末等推奨基準検討委員会」開催
- 6月 東京都青少年の健全な育成に関する条例施行規則改正
- 9月 「携帯電話端末等における東京都推奨制度」の申請受付の開始
- 10月 「東京都青少年健全育成審議会」専門委員委嘱
- 10月 「第1回東京都推奨携帯電話端末等検討委員会」開催
- 11月 携帯電話端末等及び機能の推奨
- 24年 2月 「青少年のインターネット利用に関する啓発の指針」制定
- 4月 「東京都若者総合相談（・㍻・）/若ナビ」派遣型面接相談開始
- 8月 広報誌「Youスマイル」創刊号発刊
- 12月 「第29期東京都青少年問題協議会（テーマ「青少年のインターネット・携帯電話への依存についての調査研究」）第1回総会」開催
- 26年 3月 「東京都子供・若者支援協議会」設置
- 6月 「東京都ひきこもりサポートネット」訪問相談の開始
- 9月 「こころの東京革命」リニューアル
- 27年 4月 第1回東京舞祭り『春』の開催
- 6月 少年非行問題フォーラム「非行と向き合い、乗り越える」開催
- 8月 「東京都子供・若者計画～社会に参加し、社会を形成する若い力を育む～」を策定
- 11月 青少年の深夜徘徊対策の実施
- 11月 サッカーで親子の絆を深めよう！こころの東京革命DAY開催
- 28年 1月 「わく(Work)わく(Work)Week Tokyo(中学生の職場体験)」発表会の開催
- 9月 こころの東京革命「タイムカプセル～わが子への手紙」開封式を開催
- 29年 2月 「第31期東京都青少年問題協議会第1回総会」及び「第1回専門部会（児童健全育成部会）」開催
- 3月 子供を有害情報等から守るスマートフォンの機能を初めて推奨
- 5月 「第31期東京都青少年問題協議会第2回総会」及び「第1回専門部会（若者支援部会）」を開催
- 7月 東京都若者総合相談センター「若ナビα」を開所
- 7月 東京都若者総合相談センター「若ナビα」開所記念講演会開催
- 7月 性被害防止に向けた啓発イベントを開催
- 9月 平成29年度「中学生の主張東京都大会」を開催
- 9月 「第31期東京都青少年問題協議会第2回専門部会（若者支援部会）」を開催

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">これまでの経過</p>	<p>29年9月 不登校・若者自立支援フォーラムを開催</p> <p>10月 「第31期東京都青少年問題協議会第3回専門部会（若者支援部会）」を開催</p> <p>10月 「子供に万引きをさせないフォーラム」開催</p> <p>11月 親子の絆コンサート2017の開催（福生市）</p> <p>11月 第20回子供に万引きをさせない連絡協議会」</p> <p>12月 平成29年度「東京都青少年健全育成功労者等表彰式」開催</p> <p>12月 「第31期東京都青少年問題協議会第4回専門部会（若者支援部会）」を開催</p> <p>30年1月 地域支援者向け講習会の開催</p> <p>1月 親子の絆コンサート2017の開催（練馬区）</p> <p>1月 「わく（Work）わく（Work）Week Tokyo（中学生の職場体験）」発表会の開催</p> <p>2月 平成29年度こころの東京革命推進モデル事例発表会の開催</p> <p>2月 「第31期東京都青少年問題協議会第5回専門部会（若者支援部会）」を開催</p> <p>2月 自画撮り防止に向けた改正東京都青少年の健全な育成に関する条例が施行</p> <p>2月～3月 「自画撮り被害」防止に向けた集中啓発の実施</p> <p>2月 「東京都子供・若者支援協議会（代表者会議）」を開催</p> <p>2月 「第8回東京都推奨携帯電話端末等検討委員会」開催</p> <p>3月 平成29年度体験記事業「地域のふれあい・ささえあい」表彰式の開催</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">現在の進行状況</p>	<p>1 「青少年のインターネット利用に関する啓発の指針」の制定 青少年自身がインターネットの利用に伴うトラブルや危険及び過度の利用による弊害について適切に理解し、これらの回避や対処に必要な知識を確実に習得できるようにするため、家庭等において行われる「青少年に対する啓発活動において説明されることが望ましい事項」及び「啓発に際し留意すべき事項」を定めた。</p> <p>2 インターネット、ゲームに関する家庭のルール作り 親子の絆を深めつつ、インターネットやゲームの悪影響から青少年を守るため、各家庭でのルール作りの支援策として、保護者等を対象としたグループワーク形式「ファミリーeルール講座」及び講演会形式「出前講演会」を開催。</p> <p>3 「東京こどもネット・ケータイヘルプデスク」の運営 青少年の抱えるインターネットや携帯電話に関するトラブルや悩みの解決に向けた適切な対応を行うため、青少年やその保護者などが気軽に相談できる総合的な窓口として運営。電話及びメールで相談受付。併せて、分析業務、調査・情報収集業務、事業者等への情報提供業務も行っている。</p> <p>4 携帯電話端末等の推奨 保護者が青少年に携帯電話やPHSを持たせる必要がある場合に、携帯電話端末等や利用する機能を選ぶ際の目安となるように、青少年の年齢に応じて青少年の健全な育成に配慮している携帯電話端末等や機能を推奨する。</p>

5 ひきこもり等社会参加支援事業

「東京都ひきこもりサポートネット」において、ひきこもりで悩んでいる若者やその家族、友人からの相談に応じ、ひきこもりから脱する方法や支援機関を紹介するとともに、相談事例を活用したひきこもりの若者に関する調査を行っている。

また、ケース検討会議を実施し、ひきこもりの若者の状況に応じた支援策を検討するなど、区市町村や関係機関と連携強化を図り、地域のネットワークづくりを推進している。

NPO法人等が「ひきこもり等の若者支援プログラム」に沿った支援事業を、適正かつ継続的に実施することができるかを評価して登録するとともに、登録制度に参加するNPO法人等を技術面・経営面でサポートしている。

ひきこもりの状態にある若者やその家族、支援機関の関係者等を対象としたシンポジウム及び東京都若者社会参加応援事業に参加するNPO法人等をはじめとする支援機関の合同説明会を開催している。

6 子供・若者自立等支援体制整備事業

子供・若者支援に取り組む区市町村に対し、地域の実情にあった支援体制の整備を支援している。

地域支援者向けハンドブックを作成し、民生委員・児童委員等の地域の支援者を対象とする講習会や区市町村職員向け研修会を開催、さらに、高校中退後、進路が定まらない若者やその家族向けに、主な進路先や関係機関の情報を掲載したパンフレットを作成し、ひきこもりに陥ることの未然防止に取り組んでいる

7 若者総合相談支援事業

東京都若者総合相談センター「若ナビα」において、人間関係や仕事、孤独などの悩みを抱える若者からの相談を受け、就労・就学等の適切な支援につなぎ、若者の社会的自立の後押しを行っている。平成 29 年度より従来の電話・メール相談に加え、新たに来所相談を開始した。また、外国語による対応も試験的に実施している。

8 非行少年等の立ち直り支援

非行歴のある若者に対し、東京都若者総合相談センター「若ナビα」で支援を行うほか、再非行を防止し、立ち直りを地域で支援するため、保護司との連携や普及啓発活動を行っている。

9 体験を通じた子供の健全育成

多様な人間関係や他者との関係の中で自分を捉える経験を持ってもらうため、スポーツや作品制作等を通じて社会の基本的なルールや人との関わり方を学び、規範意識や他人を思いやる心を育むことを目的とした「こころのチャレンジプロジェクト」など各種事業を各地で展開している。

10 青少年の健全な育成条例等の運用

インターネット上の有害情報対策

「青少年のインターネット利用に関する啓発の指針」に基づき、青少年がトラブルや犯罪に巻き込まれることを防止する目的で、フィルタリングの普及啓発活動等を積極的に実施する。

<p style="text-align: center;">今後の 見通し</p>	<p>1 地域と協働した子供の育成</p> <p>(1) 東京子供応援協議会の開催等を通して、都民や区市町村、関係諸団体と協働し、青少年が心身ともに健やかに育成される社会の実現に向けて機運を高める。</p> <p>(2) 子供の正義感や倫理観を育む取組に加え、地域の中で、高齢者や障害者など様々な人との交流により「他者を思いやる」、外国人を通して「多文化への理解を深める」など、青少年のダイバーシティの意識を育む取組を強化していく。</p>		
<p>問い合わせ先</p>	<p>青少年・治安対策本部 総合対策部 青少年課</p>	<p>電話</p>	<p>03-5388-3172</p>